

令和8年4月27日
相模原市発表資料

相模原市長の入院について

本村賢太郎相模原市長が病院を受診し、「慢性硬膜下血腫」と診断されましたのでお知らせします。

今後、4月28日（火）に入院し、手術を受けることとなっています。

入院期間は3日間から7日間程度とのことですが、現時点で退院予定日は未定です。また、職務代理者は置かない予定です。

既にお知らせしました5月11日（月）から15日（金）までの胆のうの手術に伴う入院・加療につきましても、今後日程が変更される可能性がありますので、確定次第改めてお知らせいたします。

（参考）慢性硬膜下血腫とは、頭部外傷後、通常1か月から2か月にかけて、頭蓋骨の下にある硬膜（脳と脊髄を覆う膜の1つ）と脳の間じわじわと血液がたまり血腫ができる病気です。手術を行うことで症状が改善し、術後約1週間で退院可能となることが多いとのことです。

問合せ先
秘書課 担当 向笠（むかさ）
TEL 042-754-1111 （内線）2121